

2024年度

# リフォームスタイリスト資格試験

## 2級 参考問題

### <解答>

※（ ）内は、『リフォームスタイリスト資格試験1級・2級公式テキスト 住宅リフォーム実務知識 第2版』において、問題テーマに関連する頁を示します。

監修：一般社団法人 日本ライフスタイル協会

---

#### 第1問 1、3 (テキスト p12～21、p43)

- 1：ヒアリングでは、専門的なことをゆっくりと平易でわかりやすく、丁寧な言葉で説明する。また、優先事項は、数多く提示することではなく、お客様に理解して納得していただくことである。
- 3：基本設計をまとめることは、多大な手間と時間が掛かるので、費用が掛かることを理解していただき有料として必要な費用を計上する。

#### 第2問 1、2 (テキスト p17～20)

- 1：「工事を設計図書と照合し、それが設計図書のとおりを実施されているかいないかを確認すること」は「工事管理」ではなく「工事監理」といい、設計者（建築士）が行う。なお、「設計図書」とは設計図や仕様書など、設計者の意図を施工者へ伝える書類のこと。
- 2：「施工検査」は工事管理者が実施するもの。

#### 第3問 3、4 (テキスト p12～21、p22～45)

- 3：概略プランと概算費用は、リフォーム工事の方向性を確認し、「設計契約」に取り付ける目的で作成されるもの。「請負契約書」は、基本設計と正式な契約金額の承認後に締結される。
- 4：「保証書」は、引き渡しの際に渡される書類の一つ。

#### 第4問 ア：2、イ：2、ウ：1、エ：2、オ：3 (テキスト p50～51)

第5問 ア：3、イ：1、ウ：1、エ：2、オ：2 (テキスト p54～58)

第6問 2、3 (テキスト p68～79)

2：耐水性が低いので構造用面材としてはほとんど使われない。

3：FN釘ではなくN釘（鉄丸くぎ）が使われる。FN釘（梱包用釘）は細くてせん断力に劣るので、構造躯体には絶対に使ってはいけない。

第7問 2、4 (テキスト p80～85)

2：「さや管ヘッダー方式」と「先分岐方式」が逆であれば正しい。

4：壁排水用のトラップは、SトラップではなくPトラップとなる。

第8問 ア：2、イ：3、ウ：3、エ：3、オ：1 (テキスト p86～92)

5：居間などの居室や台所についても自治体の条例で義務付けられている場合があるが、全国共通ではない。

第9問 ア：1、イ：1、ウ：3、エ：1、オ：3 (テキスト p96)

第10問 1、2 (テキスト p97～100)

1：大理石ではなく人工大理石が正しい。大理石は耐水性がありシミが付きやすいため、一般には使用されない。

2：外法寸法ではなく内法寸法が正しい。

第11問 ア：2、イ：3、ウ：2、エ：1、オ：3 (テキスト p160～161)

第12問 2、3 (テキスト p163～165)

2：屋根塗料の耐久性は、「ポリウレタン樹脂」より「フッ素系」の方が高い。

3：促進ではなく「防止」が正しい。

第13問 1、2 (テキスト p170～175)

1：FRP防水は、「塗膜防水」の一つである。

2：「ガラス繊維」と溶剤を重ねて防水層を形成してく工法である。

第14問 ア：3、イ：3、ウ：2、エ：2、オ：2 (テキスト p176)

第15問 3、4 (テキスト p178～185)

3：スレート材ではなく、「ルーフィング材」が正しい。

4：カバー工法を採用する場合は、既存部分の垂木や野地板に腐朽があるとネジや釘の保持力が期待できない。そのため、腐朽のないことが前提となる。

第16問 ア：1、イ：2、ウ：1、エ：2、オ：3 （テキスト p192～193）

第17問 1、3 （テキスト p219～220）

1：誘導基準ではなく、「最低基準」が正しい。

3：構造耐力上主要な部分ではなく、「主要構造部」が正しい。

第18問 ア：2、イ：1、ウ：2、エ：1、オ：2 （テキスト p222～231）

第19問 2、4 （テキスト p232～235）

2：問題文の条件の場合、「軽微な建設工事」とみなされ、建設業許可を必要としない。

4：十日以内ではなく「二十日以内」が正しい。

第20問 1、4 （テキスト p254～257）

1：法令により、高さ「5m以上」の足場では「足場の組立て等作業主任者技術講習」を修了した者が作業を指揮しなければならない。

4：施主自らが手続きをする必要があり、工事業者が処分することはできない。